

新基地建設反対名護共同センターニュース

「土砂投入は失敗だった」と安倍政権に後悔させるたたかいを デニー知事と共に

県民投票を大成功させ必ず新基地ストップを！

12月14日(金)、安倍政権は、知事選で示された圧倒的な県民の民意を無視し、辺野古の海に土砂を投入しました。この日、海上では抗議船やカヌーが50隻以上繰り出し、ゲート前や辺野古の浜では約1000人の県民が集まり怒りの声を上げました。この日は、沖縄の歴史に新たな琉球処分、「屈辱の日」となりました。政府は、埋め立てを強行することにより県民が諦めることを狙っていますが、県民は決して屈していません。知事のメッセージにもあるように、むしろ県民の怒りはますます強く燃え上がっています。

この日、翁長前知事死去後初めてゲート前を訪れた妻・樹子(みきこ)さんは「この場に翁長も一緒に立っている。県民は負けない。必ずまた立ち上がる強さを沖縄県民は持っている」と訴えました。稲嶺進・前名護市長は「沖縄に屈辱の日が新たに加わった。しかし、まだ後戻りできない状況ではない」と新たなたたかいを呼びかけました。赤嶺政賢衆院議員は「今日の土砂投入を契機に沖縄県民のたたかいはますます広がった。あの土砂投入は失敗だった」と安倍政権を後悔させるたたかいを玉城デニー知事と共に断固として広げていこう。県民投票を圧倒的に成功させ、新基地建設を必ず止めよう」と力を込めて訴えました。



赤嶺政賢衆院議員



稲嶺進前名護市長



翁長樹子さん



県民はあきらめない。逆に、怒りの炎はますます燃え上がる。

デニー知事のメッセージ(要旨)

法治国家、民主主義にあるまじき行為を繰り返す国に対し、ともに声を上げ、ともに行動していただきたい。国は、既成事実を積み重ね、県民をあきらめさせようとしているが、逆に沖縄県民の強い反発を招き、県民の怒りはますます燃え上がることを認識すべきだ。違法に投入された土砂は、当然に原状回復されなければならない。今後、軟弱地盤等で辺野古新基地建設の完成は見通せていない。私は民主主義の力を信じ、毅然と行動します。グスーヨ マキテイーナイビランドー。

デニー知事 ゲート前へ

玉城デニー知事が15日、ゲート前に駆けつけ、600人も県民に囲まれ、勝つまであきらめない。ともにたたかおう」と力強く訴え、デニーコールが巻き起こりました(写真)。

全国各地で抗議・連帯行動が広がる

埼玉 21人で抗議行動

戦争させない!埼玉の会」は14日、辺野古への土砂投入を許すな!」と緊急抗議行動を展開、9団体から21人が参加しました。

辺野古の海の大形パネルを広げて、安倍政権が法律も、沖縄県民の民意も無視して新基地建設工事を強行している実態を話すと、たちまち人垣ができ、こんなきれいな海を埋め立てるなんてひどい!などの感想が寄せられ、さながら 青空教室」のようだとの声も上がりました。(協力 二橋さん)



滋賀 駅前で50人余が

滋賀・JR草津駅前14日夜、辺野古土砂投入を許さない!抗議行動を行いました。手づくりプラスタアや横断幕と共に、悔しさやどうしようもない憤りも持って、50人以上が集まってきました。



30代の沖縄県出身者など次々とリレートーク。ギター演奏や替え歌も飛び出し、沖縄県民との連帯の思いを訴えました。(協力・高田さん)。